

大きなまち

第6回  
「住みたい田舎」  
ベストランキング!

総合部門

第1位

シニア世代が  
住みたい田舎

第1位

福岡県  
北九州市

きたきゅうしゅうし

アンケート結果

総合部門 71点/83項目

71点+(移住者数668人×0.04) = 97.72点

若者部門 19点/27項目

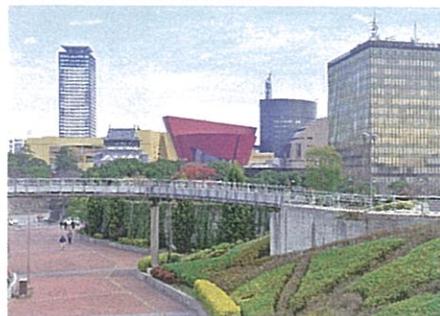
子育て部門 35点/52項目

シニア部門 26点/28項目

26点+(移住者数99人×0.04) + (総合71点×0.1) = 37.06点

編集長・柳の総評

回答市町村で最大人口でありながら、2冠にパワーアップ。大きな人口を抱えて、ワンテーマを強力に推進するのは容易ではないでしょう。早くも2年後に65歳以上の人口がピークを迎える同市は、東京にとっても重要な先行事例となりそうです。



↑市の中心部にある勝山公園から市役所や小倉城を眺める。

面積 491.95km<sup>2</sup>  
人口 95万350人  
(2017年12月1日現在)  
平均気温 17.3℃

アクセス 小倉駅まで新幹線で博多から最速15分、新大阪から約2時間10分。北九州空港から小倉駅まで直通バスで約35分。九州の玄関口として道路や鉄道が充実。  
◎企画調整局地方創生推進室  
☎093-582-2174  
「北九州ライフ」で検索

# 物価が安くインフラも充実 人にやさしい地方都市の魅力

八幡製鐵所や門司(もじ)の国際港などで近代化を支えた歴史を誇り、九州で2番目の人口規模を持つ北九州市。訪ねてみると、海と山に近く、地域の同士の交流が活発な、ほどよい地方都市である。魚がおいしくて物価が安く、医療施設も充実。行政は移住促進に力を入れる。

文/新田穂高 写真/樋渡新一 写真提供/福岡県北九州市

## 高齢化に対応し 環境調和型のまちを目指す

2015年、北九州市の官営八幡製鐵所の建物を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。だが、現代の北九州市は、製鐵所の煙突から出される煙のイメージとはまったく異なる。環境対策が進み、青い空に周囲の山の緑が映える。環境問題への取り組みや関連産業が集積した結果、市は国から「環境未来都市」に選定され、環境調和型のまちづくり

を行うほどになっている。

一方、かつて重工業を支える人材が集まって増えた人口は、昭和54年をピークに減少に転じた。2017年の高齢化率は29.6%と全国平均の27.5%を上回り、政令指定都市では1位。市役所地方創生推進担当課長の岩田健さんは言う。

「高齢化は首都圏と比べて20年進んでいて、2020年には65歳以上の人口がピークを迎えます。市では50歳以上の世代が生き生きと暮らせるまちづくりにも力を入れ、『生涯活躍のまち』のモデルエリア6カ所を選定し

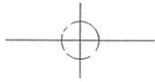
ました。充実した施設を生かし、若者・子育て世代だけでなく、この世代の移住も促進していきます」



↑勝山公園の一角にある市立中央図書館。蔵書数は47万冊。「図書館戦争」の映画ロケに使われた。



北橋健治市長と市役所で定住・移住促進を担当する皆さん。



↑家の近所を散歩する杉町さん。「歩きたくなるまち」は、この住宅地のテーマの1つ。

## 移住者レポート

すぎまみつまさ  
杉町満政さん●65歳

IT関連の仕事で中国や欧州など海外駐在も長く、今後はその経験を生かして若い世代のビジネスを応援したいと考えている。国内やアジアへのアクセスのよさも北九州市の魅力。

北九州市の  
満足度 **80** 点

「いまも充分満足だけど、海外からの観光に対応する人を増やすなど、まだまだ110点くらいまで伸ばせるよ」



↑ボン・ジョーノはゼロ・カーボン先進街区として低炭素技術やシステムを取り入れている。



↑ボン・ジョーノの住民が利用できる交流スペース「くらしの製作所 TETTE」。



↑交流スペースにはキッチンもあり、親子で楽しめるイベントも企画される。

「ここはJR城野駅まで徒歩5分。駅の手前に病院があります。将来、車に乗らなくなったあとでも、安心して暮らせますよ」

住宅地のなかには住民自身が教室やイベントを企画するなど交流できるスペースもあり、まちづくりに参加する場が持てる

### 人や企業の思いが重なって 地域ぐるみのケアを実現

市内には介護関連施設や在宅診療所なども多く、余力があるといわれている。高齢者向けサービスの質も高い。

「ここはJRC城野駅まで徒歩5分。駅の手前に病院があります。将来、車に乗らなくなったあとでも、安心して暮らせますよ」

「ここはJRC城野駅まで徒歩5分。駅の手前に病院があります。将来、車に乗らなくなったあとでも、安心して暮らせますよ」

2017年11月に神奈川県平塚市から移住した杉町満政さんは北九州市を選んだ理由の1つに医療事情を挙げる。市のお試し居住用住宅を利用しながら物件を見て回り、新居を構えた場所は多世代が暮らしやすく持続可能なまちづくりを進める新しい住宅地、小倉北区の「ボン・ジョーノ」。

「北九州市の人は、人なつっこく話しかけてきて、すぐに打ち解ける。私はそういう気風が好きです。何ができるかわからないけれど、このまちのために1つでも協力したいね」



↑銀杏庵穴生倶楽部のランチ。入居者も地域の人もみんながここを利用する。



↑「子どもからお年寄りまでみんなが地域の一員」と語る、もやい聖友会理事長の権頭喜美恵さん。



↑銀杏庵穴生倶楽部の食堂とフリースペース。放課後には子どもたちも集まる。

↓子どもたちと一緒にイモ掘り。集まって楽しむきっかけはたくさんある。





↑「秘密基地」はフリーランスや起業を考える人などが雑多に集まる、風通しのよい場所。



ユッテさん ●31歳

セミナーやイベントなどの企画運営からグラフィックデザインまでマルチにこなす多言語クリエイター。起業したい若者には車なしで暮らせる点も北九州市の魅力だという。

### 北九州市の満足度

85点

「外食は店が多すぎて選べない。唯一なのは中心地の夜カフェ。北九州の人は同じ値段ならご飯を食べに行くそうです」



## 移住者レポート



おお た こうすけ  
太田耕輔さん ●41歳

横浜市内の焼き鳥店に勤めていたが、「秘密基地」を運営している学生時代の知人に誘われて北九州市へ。秘密基地の新しい事業となる、焼き鳥と地酒を楽しむ店のオープン準備中。

### 北九州市の満足度

90点

「最初に感激したのは魚のおいしさです。パレエに打ち込む娘たちは妻と一緒に横浜住まいなので、家族が一緒なら満点です」

かけられないなら、人が勝手に出入りする仕掛けをつくらうと考えました」  
敷地は新日鐵住金の社宅跡。住宅地の中にある特養は、土地を地域のために役立てたいと考えた企業と、権頭さんの思いがマッチして実現した。  
「北九州市ではみんな、このまが大好きで、よくしたいと思っっています。銀杏庵にたくさんの方が集まるのも、みんなの思いがあればこそなんです」  
**新しいことに挑戦できる人がおおらかで温かいまち**  
北九州市には、まちの魅力にひかれて若い世代の移住者も増えている。小倉駅近くにある「秘密基地」は、知識や経験をシェアして新しいビジネスにつなげたい人のためのコワーキングスペース。ここで出会ったユッテさんは、ドイツ、韓国、タイなど海外で生活したのち、北九州市に立ち寄り、秘密基地でセミナーを開いたのをきっかけで、このまちに住み着いた。  
「このカウンターで10カ国語を話せると雑談していたら、スタッフの方が『おもしろすぎるからセミナーをやってくれ』って。北九州市は物価が安くて

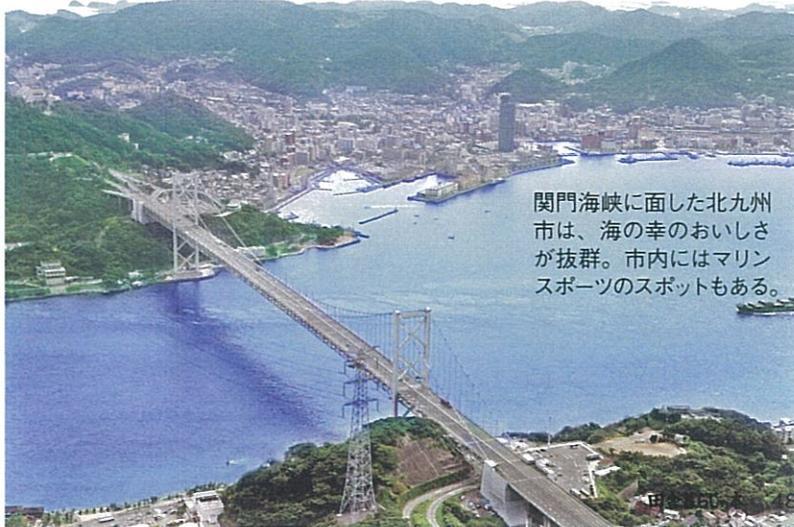


↑福岡県夏の三大祭りの1つ「戸畑祇園大山笠」。2016年にユネスコ無形文化遺産に登録された。



↑若松区は、福岡県で出荷量1位のキャベツの産地。若松潮風®のキャベツは、ミネラルを含んだ潮風を浴びて甘くて大きい。

外食はおいしく安い。人口密度は圧倒されるほどではないけれど、何かを始めれば需要はある。そして昔から人の出入りが多かったからでしょう、人がおおらかで温かい。『住むにはいいかもしれない』と直感しました」  
太田耕輔さんは1年前に横浜市から移住し、秘密基地のスタッフをしながら焼き鳥店開業の準備中。  
「ここは新しいことに挑戦できるまちです。ほどよく活気があって、秘密基地に来れば、たとえ困っても誰かとつながりが持てます。安い、うまいだけでなく、どこに行っても心から接してくれるまち。都会のよさと田舎のよさがいい塩梅にあるんだと思いますよ」



関門海峡に面した北九州市は、海の幸のおいしさが抜群。市内にはマリンスポーツのスポットもある。



**北橋健治**  
北九州市長より  
受賞メッセージ



**どの世代にも住みやすいまち  
移住を官民一体で応援します**

「大きなまち」の総合部門とシニア部門で第1位の評価、大変うれしく思います。北九州市は人口95万人の比較的大きな都市でありながら、物価も不動産も安く、豊かな自然にも囲まれた、どの世代にとっても住みやすいまちです。これからもU・Iターン就職支援や移住相談、お試し居住など、皆さまをしっかりと官民一体でサポートしていきます。北九州市へのお越しを心からお待ちしています。

**北九州市の  
移住支援制度**

**北九州市すまいるクラブ**

市の移住関連情報が定期的に郵送で届き、市内の応援企業・団体による各種特典を利用できる移住希望者の会員制度。移住セミナーなどの案内のほか、市内のタウン誌なども定期的に届けられ、ローカルな話題や物件情報などがわかる。特典は住宅ローン、引っ越しやレンタカー料金の割引など多数。

**移住コーディネーターが  
お試し居住を支援**

市内にはメゾネットタイプのお試し居住用住宅が用意され、1週間1万円(以後1日ごと1000円)で利用できる。お試し居住中は移住コーディネーターが希望に応じた訪問先などを案内してくれる。

**住むなら北九州**

**定住・移住推進事業(住宅補助)**

39歳以下で新婚世帯や2人以上の子どもがいるなどの世帯に最大30万円の家賃相当分を補助する「子育て・転入応援メニュー」、移住世帯が住宅やマンションを取得する場合、1人当たり15万円、最大50万円を補助する「定住・移住促進支援メニュー」などがある(いずれも対象者と対象住宅に要件あり)。



**子育て&教育環境も○**

北九州市の合計特殊出生率は1.59と全国平均の1.45を上回り政令指定都市で2位。保育施設の待機児童ゼロ(2017年4月1日現在)。市内には国公立立合わせて11の大学があり、教育環境は充実している。



↑小倉駅近くの「子育てふれあい交流プラザ」は子ども100円、大人200円で1日遊べる人気スポット。



↑周辺に家族向きのマンションも多い勝山公園。子どもたちやファミリーが元気に遊ぶ。

**U・Iターンと女性の  
「はたらく」を応援!**

女性の就職、子育て、創業などの相談や手続きをまとめて扱う「ウーマンワークカフェ北九州」、移住希望者の就職相談を行う「北九州市U・Iターン応援オフィス」は、JR小倉駅から徒歩5分。



↑「ウーマンワークカフェ北九州」「北九州市U・Iターン応援オフィス」は「子育てふれあい交流プラザ」と同じ建物の中にある。